



Global Technology Initiative

GTI コンソーシアム

人材育成・イノベーション創出



GTI Consortium

グローバル理工系人材の育成・イノベーションの創出



GTIコンソーシアム
代表 村上 雅人
(芝浦工業大学 学長)

世界のグローバル化は、産業の発達とともに急速に加速しており、今日の社会活動、経済活動は、単一の国家で完結するものではなくなりました。国際社会の持続的発展は、産業界における競争の結果として創出されるイノベーションによって担保されるといっても過言ではありません。このイノベーションを創出させるためには、社会のニーズを的確にとらえ、その課題について様々な角度から考え、その解決を図る人材の育成が必要です。

大学は、そのようなイノベーションを創出する人材の育成を担う責務があります。しかしながら、急速な技術革新が進む社会においては、その教育内容をより実践的なものにして、教育の質を向上させるためには、産業界や政府機関との連携が不可欠であると考えます。

天然資源を持たない日本は、20世紀にたゆまぬ努力で工業立国として、世界の中で現在の地位を築きあげました。これらの経験を活かし、さらなる国際社会の発展に貢献する義務があると考えます。一方、東南アジア諸国は、若い労働力が多く輩出され、活気に満ち、着実に技術力を向上させており、国際社会の中でさらにその存在感を顕わなものにしています。

このような背景のもと、日本と東南アジアに軸足を置き、産学官の連携を強化するためにGTIコンソーシアム (Global Technology Initiative Consortium) を設立いたしました。GTIコンソーシアムでは、東南アジアにおける産業現場の課題や各国の環境・防災等を含む社会課題を取り上げ、それらの課題を解決することで、教育の質の向上、人材の育成と供給、イノベーションの創出、産業競争力の強化を推進してまいります。

目 的

理工学教育の質の向上

国内外の産学官が連携し、実践的な教育を提供することで、理工学教育の質を向上させます。

人材の育成と輩出

質保証された理工学教育により、グローバルエンジニアを育成し輩出します。

イノベーションの創出

グローバルエンジニアが世界をフィールドに活躍することで、イノベーションを創出します。

産業競争力の強化

グローバルエンジニアによって創出されたイノベーションにより、産業競争力を強化します。



- 実践的教育手法の確立
- 教育の質保証の推進

- 社会課題の解決
- 国を支える人材の輩出



主な活動内容

1 グローバルPBL (国際プロジェクト実践教育)

GTIコンソーシアムに加盟する大学の学生が、複数の国籍からなるチームを形成し、企業における現場の課題や途上国が直面する社会課題などを取り上げ、課題解決のための方策を議論し、成果発表を行います。課題の設定や解決方法の議論は、大学教員および企業、政府等からの派遣講師の指導の下で行い、問題解決能力を有するグローバル理工系人材の育成を目指します。

2 国際インターンシップ

自国外のオフィスや工場などで学生が実習することで、文化や考え方の多様性を体験し、多面的な視点からものごとを俯瞰する能力を育成するとともに、現場における課題発見や問題解決実習を通して、グローバル理工系人材を育成します。

3 国際共同研究

GTIコンソーシアムの加盟大学および企業による、東南アジアや世界の持続的発展などに関する国際共同研究を推進します。

4 政府間協カプロジェクト

各国の開発支援プロジェクトや研究協力プロジェクトにGTIコンソーシアムの加盟機関が参画するとともに、GTIコンソーシアムから各国のニーズに即した政府間協カプロジェクトの提案を行います。

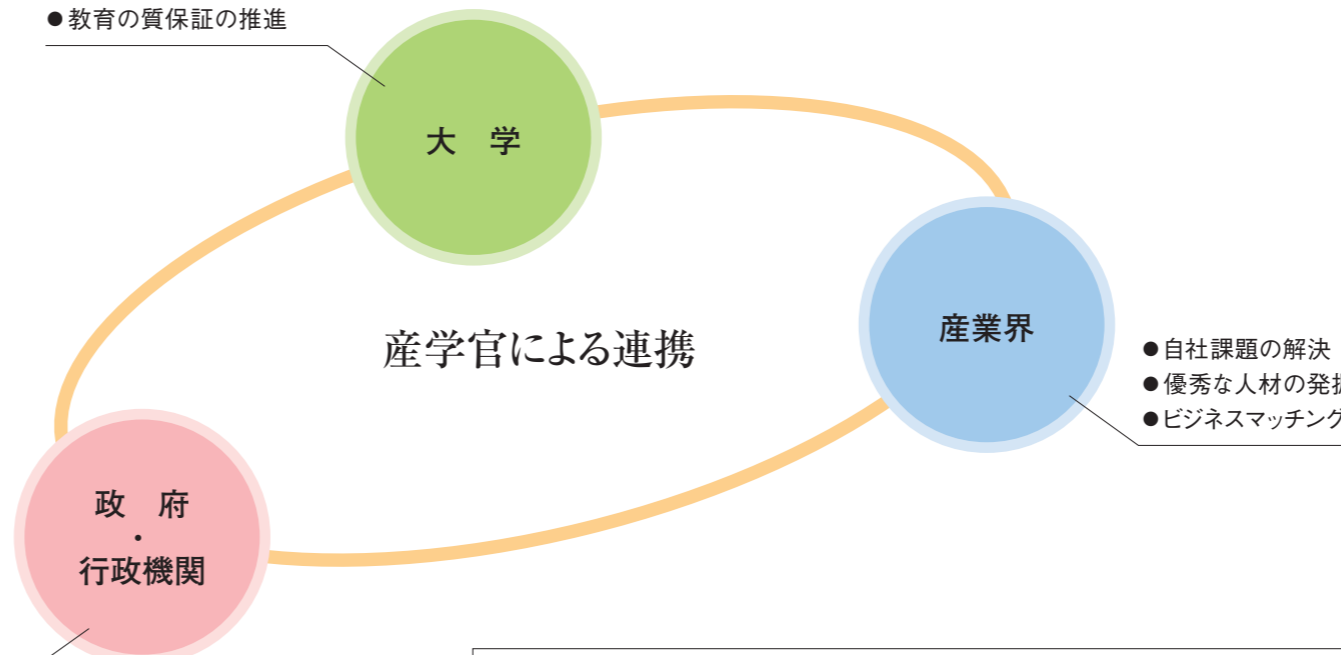
5 大学間国際連携

GTIコンソーシアムに加盟する大学間での教員の相互交流、日本のものづくり技術を基幹とするグローバル工学教育の普及、海外大学院生の日本での学位取得や大学間での共同学位の取得などを進め、国際交流を推進します。

6 GTIコンソーシアムシンポジウム

GTIコンソーシアムにおける諸活動の情報共有とさらなる発展を目的として、年に1回シンポジウムを開催します。国内外の政府機関、産業界、大学関係者からの講演、およびコンソーシアムにおける諸活動の成果報告などを主な内容とします。

※個別の活動において発生する費用負担、機密情報の保護管理、知的財産等の成果物の取扱い、その他の必要事項については、当事者間で取扱いを定め、各当事者の責任のもと運用管理していただきます。



コンソーシアムへの加盟について

GTIコンソーシアムでは、主旨にご賛同いただける企業や団体の皆様の加盟をお待ちしております。コンソーシアムにおいて得られた産学官連携活動の成果や経験を財産として捉え、加盟いただいた皆様と共有させていただきます。

加盟条件

1. GTIコンソーシアムの主旨にご賛同いただいていること
2. 企業、大学、機関・団体等法人格を有していること
3. GTIコンソーシアムにおける今後の活動に、協働で参画いただけること

会費など

入会金や年会費は徴収いたしません。ただし、シンポジウムなどに参加する際に発生する諸経費（交通費など）は自己負担となります。

申し込み方法

GTIコンソーシアムの主旨にご賛同いただき参加ご希望の場合は、下記URLよりお申し込み手続きを進めてください。

<http://plus.shibaura-it.ac.jp/gti/>

GTIコンソーシアム運営委員

株式会社IHI
株式会社NTTデータ
キャノン株式会社
東京東信用金庫
トヨタ自動車株式会社
株式会社フジクラ
ボッシュ株式会社
株式会社三井住友銀行
三井住友建設株式会社
三菱電機株式会社
独立行政法人国際協力機構（JICA）
国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）
独立行政法人日本貿易振興機構（JETRO）
工学院大学
芝浦工業大学
東京電機大学
東京都市大学
福岡工業大学

アドバイザーメンバー

ハノイ理工科大学（ベトナム／ハノイ）
ホーチミン市工科大学（ベトナム／ホーチミン）
キングモンクット工科大学トンブリ校（タイ／バンコク）
スラナリー工科大学（タイ／ナコンラチャシマ）
泰日工業大学（タイ／バンコク）
マレーシア工科大学（マレーシア／ジョホールバル、クアラルンプール）
マレーシア日本国際工科院（マレーシア／クアラルンプール）
ガジャマダ大学（インドネシア／ジョグジャカルタ）
バンドン工科大学（インドネシア／バンドン）



GTIコンソーシアム事務局

（芝浦工業大学 国際部SGU推進課）

〒135-8548 東京都江東区豊洲3-7-5

T E L 03-5859-7150

E-mail sgu-initiatives@ow.shibaura-it.ac.jp

U R L <http://plus.shibaura-it.ac.jp/gti/>